



若さが、
五條を変える。

zen shin
全 心 全 力
zen ryoku

44歳

養田まさやす

五 條 市 政 報 告

令和4年 冬号



養田まさやす事務所

〒637-0061 奈良県五條市中町250-1
電話.0747 (23) 1905 FAX.0747 (25) 0180

人口減少対策、障がい者雇用、交通の充実

五條市議会の養田全康は市議会12月定例会の一般質問に登壇し、市内空白地を解消する公共交通への取り組みや、高齢者に配慮した「ドアtoドア」の公共交通の導入を提案を行いました。また年間600人程度ずつ減少し続けている人口の減少に歯止めをかけるための対策として、こどもの医療費を窓口で支払う必要がない「完全無償化」を求めました。そのほか障がい者支援など、私の市政活動を市民の皆様にご報告いたします。

未利用市有地の有効活用を提案

五條市は令和2年度の財政（一般会計）の決算で、県内39市町村のうち特に財政が悪い自治体として「重症」警報を発令しました。県独自の財政指標を基にした判断で、財政状況の改善を促されました。昨年度の令和3年度はこれが改善され、「重症」と県から名指しされることから外れたものの、依然、厳しい財政状況に変わりありません。

旧市役所や統廃合された教育施設をはじめ、市が保有する土地建物など、未利用の市有公共施設土地

は現在、約8700平方メートルあります。このうち、事業用地として**土地開発公社が保有しているのは、金額ベースで20億9000万円に上ります。**

長年にわたって市が保有している未利用の土地や塩漬けの土地を洗い出し、民間への売却

をはじめとする有効利用を私は市に提案しています。同時に厳しい財政状況を改善し、**人口減少対策**

「ハコモノ」から活用への転換を

未利用の公共施設

旧役場庁舎
旧五條高等学校賀名生分校
旧白銀北中学校
旧西吉野村小学校
旧阪本小学校
旧惣谷小学校
旧養護老人ホーム花咲寮
旧西吉野在宅福祉支援センター
旧阪合部保育所
旧野原東保育所
旧阿太保育所
旧大森小学校

未利用の土地

京奈和道旧代替地
旧北宇智駅前駐車場
五條幼稚園跡地
市道岡口3号線残地
中之町消防屯所隣接地
市営田中団地北側空地
市営二見住宅跡地
公共用道路（普通財産）

計8781.44ヘクタール
約20億9000万円

※この他にも未利用地があります。

や子育て支援対策への投資として、この20億円の資産を有効活用することを求めています。

3期9年市議活動に汗、今後は新たな挑戦へ

私は初当選以来これまで、3期9年間の市議会議員として活動させていただきました。当選後すぐに議員報酬の削減を提案、抵抗勢力に対抗し「市民生活に寄り添う」ことを基本に議会改革を訴え続けてきました。

また、シダーアリーナの官製談合事件では、いち早く議会の調査特別委員会の設置を提案し、全容解明に向け取り組んできました。

任期中、副議長をはじめ議会の要職を務め、ふるさと五條の発展を願い、仕事をさせていただきました。今後は志変わらず、新たな挑戦で五條のために汗をかく所存です。

養田 全康

公共交通の充実を ドアtoドアの検討求める

市議会12月定例会では、地域公共交通の充実について一般質問に登壇しました。**高齢化が進む中、停留所までの移動が日々困難になってきている現状を訴え「ドアtoドア」の日常の足の構築が将来的に必要**と述べました。

また市内には地域公共交通網が届いていない「空白地」がまだまだあり、これらの場所に居住する住民への対応について、市の考えをたしました。

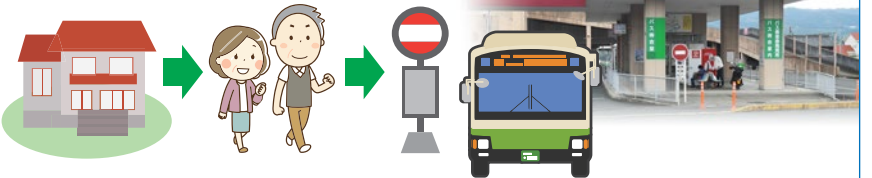
市は「地域住民の生活に寄り添っ

た地域公共交通になっていくよう、改善に向けて取り組んでいきたい」と答弁しました。

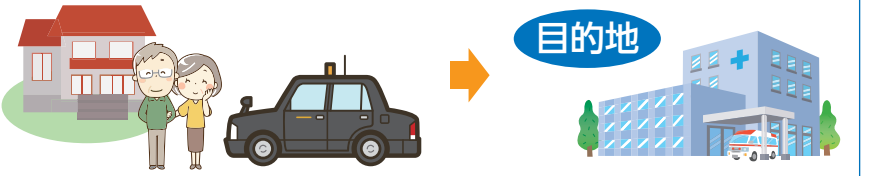
空白地につい

て市は、鉄道駅から800メートル、バスや乗合タクシーの停留所からは300メートルで公共交通にアクセスできるエリアを交通計画で想定しているものの「遠く離れた場所に住んでいる方もいるの

現状



将来への提案



が実情」とし、コミュニティバスや五條市デマンド交通、昨年度から新たに運行を開始した区域型の予約制乗合タクシーの停留所を地域住民の声を聞きながら検討していきたいと回答しました。

人口減少に歯止め 子どもの医療費完全無償化を

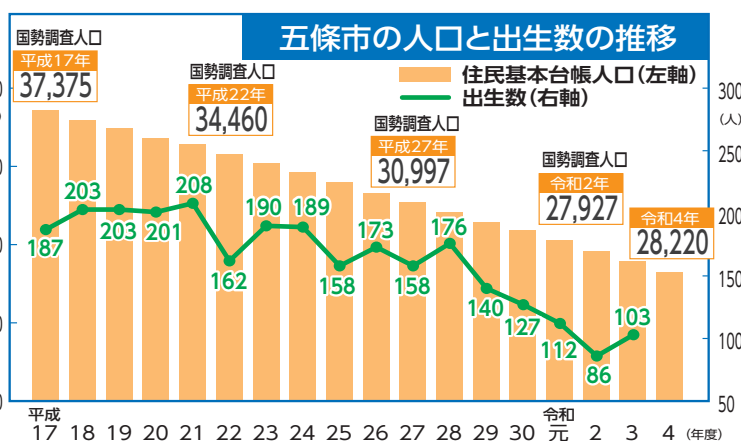
五條市の住民基本台帳の人口＝**グラフ参照**＝は合併した平成17(2005)年の3万8601人をピークに年々減少しています。一方、令和2(2020)年の国勢調査人口

は2万7927人、5年前の前回調査と比較して9・9%もの減少になっています。

市の将来ビジョンを描く最上位の計画「五條市ビジョン」では、令和2年時点での総人口は2万9599人を想定していました。国勢調査は、想定した人口とほぼ同様の結果が出ています。

進学や就職をはじめ、若い世代や現役世代が市から流出することが顕著になっており、出生数もピーク時の半分になっています。**人口減少に歯止めをかける施策の必要性を訴え、市の考えについて質問**しました。

市は「若い世代が住みたい、子育てしやすいと思える環境づくりに取り組むことが必要。若い世代の流



出を食い止めることが極めて重要」との考えを示し、新年度4月から医

療費助成の対象を高校生までに拡大する方針を説明。

また現在は乳幼児のみが対象になっている医療機関の窓口での負担をなくす「医療費の完全無償化」について、令和6年8月から小中学生も対象にする考えを明らかにしました。

私は「**医療費の完全無償化**」は、**多くの子育て世帯が望んでいることであり、五條に住み続けてもらうきっかけの一つになると主張**、さらなる制度の拡充を強く求めました。

障がい者の自立支援策を要望 教育現場に専門教諭の配置を検討

親は障がいがあろうがなかろうが子が社会に出て働き、自立することを望んでいます。障がい者が働ける場を求めて質問しました。また認定こども園で支援が必要な園児に対して、保育教諭が適切に配置されているか、市の現状をたしました。

市では障がい者雇用枠を設け、令和4年度の市の障がい者雇用率は2・72%と、法定雇用率の2・6%を上回っています。今後も障がい者がそれぞれの能力を発揮できる職場の環境を整え、雇用を進めていく

との答弁があり、**私は障がい者雇用の充実を再度求めました。**

認定こども園では、個別の支援計画を基に、支援が必要な園児に保育教諭を加配しています。また小中学校の特別支援学級では、市独自として支援員を配置し、入級に至らないものの、支援が必要な児童・生徒に対しては、通級指導教室を整備しています。私の質問を受けて市はこの通級指導教室の増設について検討し、県へ要望すると回答しました。

養田まさやす プロフィール

○生年月日 昭和53年6月2日
○学歴 御所工業高等学校卒業

○家族 妻、子ども4人
○趣味 野球、サッカー、釣り、読書
○好きな言葉 理念を持ち信念に生きよ

○主な経歴

副議長、監査委員、各委員長、副委員長などを歴任。
総務文教常任委員会委員長
調査特別委員会(百条委員会)副委員長
自衛隊駐屯地誘致特別委員会副委員長
議会運営委員会委員